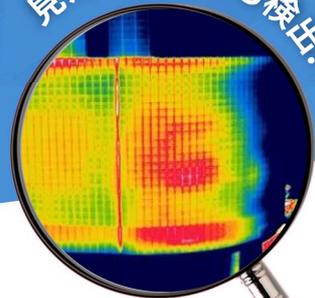


外壁調査の 費用を削減



ドローンで 空から点検

見えない劣化も検出!



ドローン外壁調査のメリット

01

足場なしで劣化を調査

仮設工事が不要なため足場を組んでの調査法の約14分の1以下、ゴンドラの約4分の1以下の費用で調査が可能です。※1

02

劣化がない場合調査費のみ

外壁の劣化が進行しておらず、剥落する恐れがない場合、かかる費用は調査費のみ。コスト削減につながります。

03

スピード調査

ドローンによる外壁調査は1日～3日で調査が完了し、騒音も最小限に抑えるため住居者への負担がかからない調査法です。

04

劣化箇所の数量把握

工事の追加費用が発生しやすい浮きやクラックの劣化数を事前に算出できるため、実数清算がより正確になります。

※1「外壁診断費用に関する調査」の外壁調査会社19社のアンケート結果をもとに算出。

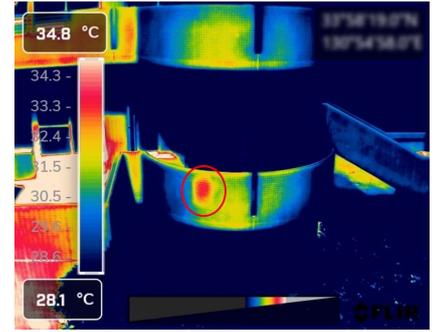
赤外線カメラで見えない劣化を検知



ドローンで外壁を撮影



問題ないように見えるが…

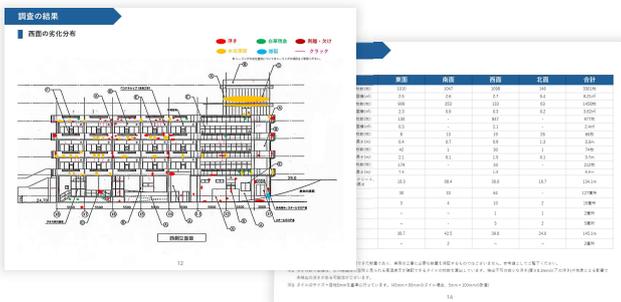


赤外線解析で浮きを検出

ドローンによる赤外線調査は国土交通省が定期報告の利用に認めている調査手法です。マンションなどの特定建築物の所有者は10年に1度、外壁の全面調査が義務付けられていますが、足場やゴンドラで調査するコストが高すぎるという課題がありました。ドローンによる赤外線調査は、足場を組まずに低コスト・高い精度・短期間で外壁の全面調査が可能のため自治体も採用し始めている調査法です。

見やすい報告書

1. いますぐ修繕が必要か緊急性を診断
2. 修繕が必要な劣化箇所の数
3. 劣化箇所の分布図や詳細画像



報告書を改修工事に活用

1. 改修時期の計画
2. 大まかな外壁修繕費用の予算把握
3. 剥落リスクの高い箇所の特定など



Q ドローンは危なくないですか？

A. 弊社では、ドローンの国家資格取得者がオペレーターとして操縦を担当します。国土交通省への飛行許可承認を得た上で安全な飛行計画を立て調査にあたります。万が一の事故に備えてドローンの賠償責任保険に加入しており、お客様が安心した状態で調査できる環境を整えています。

Q ベランダにドローンは入りますか？

A. ドローンで調査する際は建物の外壁から5m～15mほど離れた距離から撮影しますのでベランダ内部に入ることはございません。住居者や近隣の方に事前通知のチラシを配布しご理解をいただき上で安心して調査を実施するよう配慮しております。

ドローンメイト

<https://dronemate.co.jp>

検索

DRONEMATE 株式会社ドローンメイト

〒 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目23番2号ParkFront博多駅前1丁目5F-B
TEL : 092-600-2699 FAX : 092-600-2713 Mail : info@dronemate.co.jp